

田県神社前駅西駅前広場ワークショップ ニュースレター

第1回

開催日：2015年6月20日 9:30~12:00
参加者：31名

田県神社前駅西駅前広場ワークショップがはじまりました。

このワークショップは、田県神社前駅西駅前広場を安全で誰もが利用しやすく親しみがもてるものとするために、どのような駅前広場にしていきたいかを皆さんと話し合い、今後の整備の方向を検討し、まとめていく場です。

これから検討委員会の様子をこのニュースレターでお伝えします。第1回は異なる立場の人の目線に立って、どのように駅前広場が使われるかを考え、必要な機能・場所・施設を検討しました。名古屋経済大学の学生にも参加いただき、積極的な話し合いが行われました。

■ 参加者の構成

- ・地域住民 22名
- ・名古屋経済大学学生 9名

■ 今回の内容

1. あいさつ
2. オリエンテーション
(進め方の説明)
3. グループワーク
 - (1) 駅前利用の場面設定
 - (2) 利用イメージの検討
 - (3) 整備コンセプトの検討
4. グループ発表
5. 閉会 (連絡事項など)



第1回ワークショップの様子

1 開会

検討会の開会にあたり、小牧市都市政策課の河村課長補佐よりあいさつがありました。



小牧市都市政策課
河村課長補佐

2 オリエンテーション

小牧市より駅前整備事業の経過報告があり、その後、ワークショップの進め方、検討の前提条件、近隣の整備事例などの説明がありました。



小牧市都市政策課
川島係長

3 グループワーク

3つのグループごとに参加者の自己紹介を行いました。

● (1) 駅前利用の場面設定

参加者の皆さんが、それぞれ順番に3つの立場(役割)にたって考える“ロールプレイ”という手法を使い、駅前広場がどのように使われるのか、話し合いながら場面を想定しました。

【立場(役割)】

地域コミュニティ

通勤・通学利用者

観光客・来訪者

● (2) 利用イメージの検討

それぞれの立場によって、どんな駅前広場が良いか、具体的な利用イメージを検討しました。



検討の様子 (A班)

● (3) 整備コンセプトの検討

グループで考えた利用イメージから、必要な機能(場所、施設)を整理し、コンセプト(基本方針)をまとめました。



検討の様子 (B班)

4 グループ発表

グループで考えた利用イメージと整備コンセプトを全体に向けて発表し、各グループの意見・アイデアを共有しました。その後、今回のワークショップのまとめとして、事務局により意見傾向の確認をしました。

5 閉会

最後に、名古屋経済大学の岡田先生より、大学の地域連携の取り組みについてお話がありました。



名古屋経済大学
岡田特任教授

◇グループ発表



A班のまとめ

A 班

小牧市の北の玄関として(神社+大学)の顔となるデザインが必要。駅利用者以外の人にも親しまれる場所としたい。市有地西側は、花にあふれた素敵な休憩所。駅利用者の基本機能を押さえ、災害時やイベント時の工夫が必要。



発表の様子(A班)



B班のまとめ

B 班

若々しく明るい元気な駅前広場。市有地は、駐輪場とするが、臨時駐車場や、イベント用スペースとなると良い。ロータリー中央部にはモニュメントや時計の他、地域のイベント情報をPRできる場にも利用したい。



発表の様子(B班)



C班のまとめ

C 班

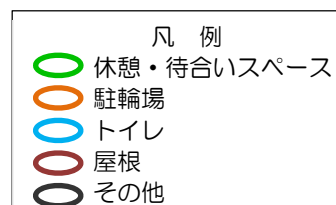
誰でも利用しやすい、明るく花と緑の多い駅前広場。市有地はイベント広場と駐輪場。ロータリー中央部にはモニュメント。駅に近い南部には、待ち合いスペースや集合場所を確保し、観光用の案内板が欲しい。



発表の様子(C班)

◇利用イメージのまとめ

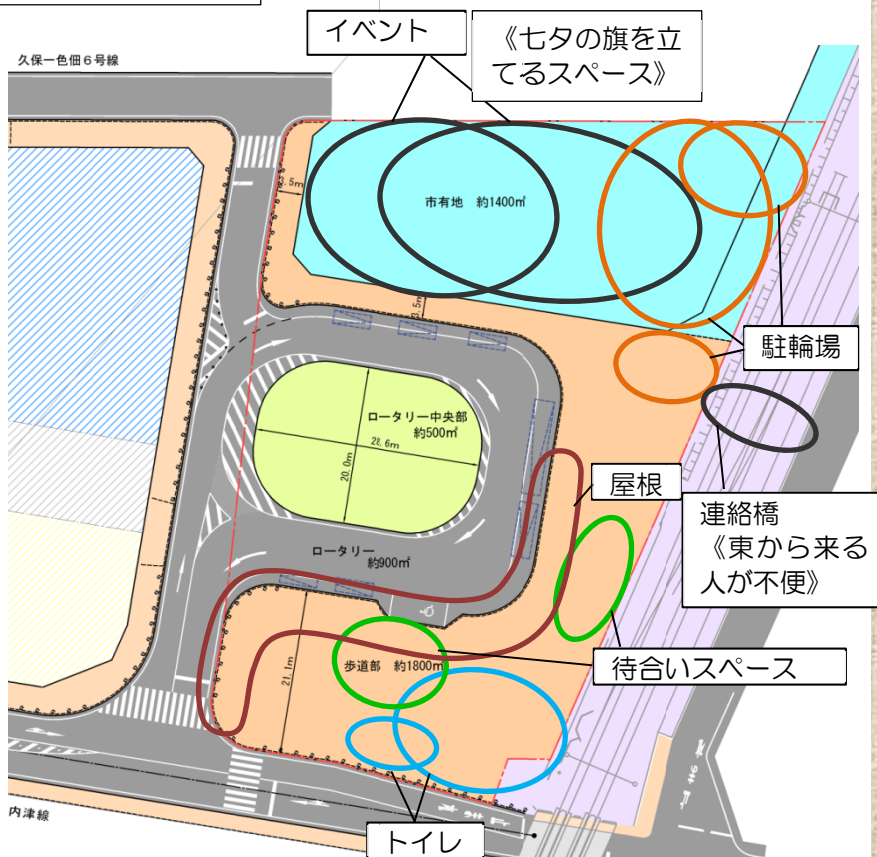
各グループで考えた、3つの立場ごとの利用イメージと必要な機能（場所、施設）は、このようになりました。



<地域コミュニティ>

- ・トイレ（A、B、C班）
- ・イベント用スペース（B、C班）
：コンサート、七夕の旗、バザー等
- ・ベンチ（B、C班）
：サークルベンチ、広めのベンチ
- ・噴水（B班）
：子供が遊べるように
- ・ソーラー照明（B班）
- ・防災情報（A、B班）
- ・駐在所（B班）
- ・郵便局（B班）
- ・車のスペース（A班）
- ・タクシー（C班）
- ・駐輪場（A班）
- ・待合スペース（C班）
- ・市の広報、掲示板（A班）
- ・大きな木（A班）

赤字：意見の多かった項目



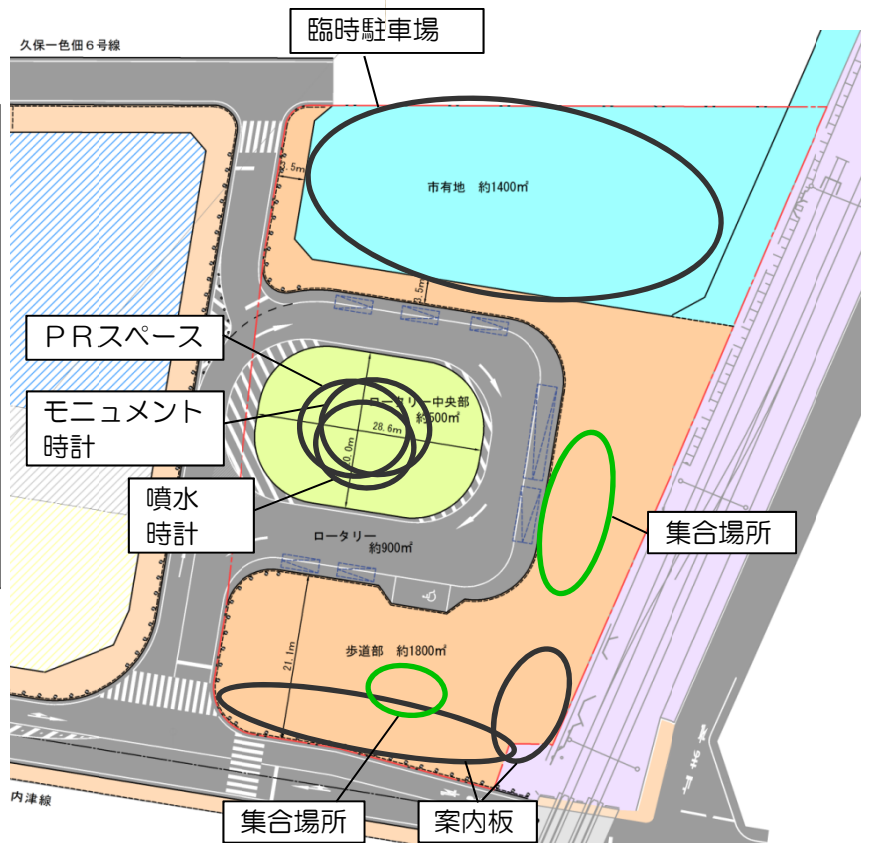
<通勤・通学利用者>

- ・郵便局（B班）
- ・駐在所（A、B班）
- ・コンビニ（A班）
- ・駐輪場（A、B、C班）
- ・トイレ（A、C班）
- ・送迎車、タクシーを待つスペース（C班）
- ・時刻表（C班）
- ・駅全体の地図（C班）
- ・ベンチ（A、B、C班）
：屋根つき
- ・待合スペース（C班）
：屋根つき
- ・屋根（A、B、C班）
- ・木陰（A班）
- ・時計（A班）
- ・駅東側の利用が特に課題（C班）



< 観光客・来訪者 >

- ・案内版 (A、B、C班)
：外国語表記
地域の情報、イベント(大学、地域)のPR
インフォメーションセンター
- ・時計台 (B、C班)
- ・噴水 (B班)
- ・シンボル、モニュメント (C班)
- ・集合場所となるスペースにベンチ (C班)
- ・緑道 (B班)
- ・臨時の駐車場 (B班)



◇全体意見のまとめ

- 日常的な利用からイベント時、災害時を想定した意見まで、様々な意見がありました。
- 共通する意見としては、トイレ、駐輪場、時計といった基本的な機能のほか、休憩、憩いのスペースや、来訪者への案内板などです。
- 駐輪場の場所としては、駅から離れすぎると使いづらいことから、東側の線路沿いの東側と、北側の市有地の一部を利用する意見が出ています。
- トイレや案内板は、駅に近い南部分とする声が多かったようです。横断歩道以外での横断防止のために、人の流れを迂回させるために施設配置をする配慮もありました。
- 休憩、憩いのスペースは、北西部や南部分、線路沿いの東側に広く分布しています。
- 防犯面から駅前に駐在所がほしいという声もありました。
- 車の乗降スペースから駅に向けて連続的に屋根(雨除け)を望む声もありました。また、ロータリー中央部には地域や大学のPRスペースとして活用する案が出ています。
- 全体のコンセプトでは、田県神社前駅として落ち着いた雰囲気のあるものの、学生利用が多いため、若者の集まる明るい空間を期待する意見が多くありました。



ワークショップのまとめの様子

コンセプト(キーワード)まとめ

- ・落ち着いた空間
- ・神社+大学の顔となるデザイン
- ・きれいな場所
- ・木や緑、花がいっぱい
- ・快適で使いやすい
- ・地域にやさしい
- ・若々しく、明るい空間
- ・明るい雰囲気
- ・学生の利用が多い元気な場所
- ・使いやすい、集まりやすい場所
- ・ヤングタウン
- ・小牧市の北の玄関

など

☆次回は、今回の意見をもとに、具体的なプランで話し合いをします。お楽しみに！

次回のワークショップは9月5日(土)の予定です！

田県神社前駅西駅前広場ワークショップ
ニュースレター

第1回

作成・発行
小牧市都市政策課
株式会社オオバ名古屋支店 まちづくり部



お問い合わせ
小牧市都市政策課
TEL 0568-76-1157